

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科	子ども教育学科		
科目名称	幼児体育					授業形態		演習	
科目コード	750079	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	宮内 孝							ICT活 用	○
授業概要	この授業は、幼児期の運動遊びの重要性の理解を深めるとともに、子どもが楽しく取り組める運動遊び教材を工夫したり、その教材を用いた運動遊びの展開ができる実践力を養うことを目的としています。 幼児期は、子どもが主体的に運動遊びに取組みながら、基本的な動きを多様に身につけることが重要です。子どもの発達段階を見極めて、子どもがやってみたいと思えるような運動遊びの教材を工夫する視点を学びます。そして、それを用いた模擬授業を行います。授業者は、小学校教諭として体育授業はもちろん他教科の授業実践にも取り組んできました。この実践を通して得た知見を、特に教材の工夫や模擬授業の指導に活用して、本授業の学修が深められるようにします。								
関連する科目	発達心理学Ⅰを事前に受講しておくことが望ましい。履修後は、体育を履修することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	この授業では、アクティブラーニングの手法を取り入れながら運動遊びの教材の工夫を行います。そして、その教材とICTを用いた模擬授業とその実践後の振り返りを通して、主体的に学ぶようにします。								
授業計画 【第1回】	第1回 オリエンテーション・じゃんけん遊び じゃんけんを用いた姿勢変化・バランスをとる動き・移動する動きを高める運動遊びに取組ながら、遊びの提示・させ方を学びます。								
授業計画 【第2回】	2. 遊具を使った身体活動 棒・リングをつかった遊び 棒・リングを用いた姿勢変化・バランスをとる動き・移動する動きを高める運動遊びに取組ながら、遊びの提示・させ方を学びます。								
授業計画 【第3回】	3. 遊具を使った身体活動 なわをつかった遊び なわを用いた姿勢変化・バランスをとる動き・移動する動きを高める運動遊びに取組ながら、遊びの提示・させ方を学びます。								
授業計画 【第4回】	4. 走・跳の身体活動・ちびっこ運動会の運動種目の構成 走る、跳ぶ動きを通して姿勢変化・バランスをとる動き・移動する動きを高める運動遊びに取組ながら、遊びの提示・させ方を学びます。 ちびっこ運動会の運動種目の構成を検討して計画をします。								
授業計画 【第5回】	5. ちびっこ運動会の準備 ちびっこ運動会の運動種目について、発達特性考慮して検討します。 また、子ども達に分かりやすい説明や指示のありかたを検討します。								
授業計画 【第6回】	6. ちびっこ運動会 前半① 子育て支援センターに通所する幼児を対象としたちびっこ運動会を実践して、子どもの発達、運動内容、指示・説明について実践的に学びます。								
授業計画 【第7回】	7. ちびっこ運動会 後半② 子育て支援センターに通所する幼児を対象としたちびっこ運動会を実践して、子どもの発達、運動内容、指示・説明について実践的に学びます。								
授業計画 【第8回】	8. 遊具を使った身体活動 ボール遊び ボールを用いた姿勢変化・バランスをとる動き・移動する動きを高める運動遊びに取組ながら、遊びの提示・させ方を学びます。								
授業計画 【第9回】	9. 遊具を使った身体活動 マット遊び・バルーン遊び マット遊びやバルーンを用いた遊びを通して姿勢変化・バランスをとる動き・移動する動きを高める運動遊びに取組ながら、遊びの提示・させ方を学びます。 バルーンを使った遊びづくりに取り組みます。								
授業計画 【第10回】	10. 遊具を使った身体活動 マット遊び・バルーンを使った遊び 小学校体育で取り上げるマット運動の技との類縁性について理解を図りながら、その類似の運動遊びの仕方について考えます。 バルーンを使った遊びづくりに取り組みます。								

授業計画 【第11回】	11. 遊具を使った身体活動 跳び箱遊び・リズムダンス・パルーンを使った遊び それぞれの動きのスポーツ技術への発展と、つまずきへの指導の仕方を学びます。 パルーンを使った遊びづくりに取り組みます。
授業計画 【第12回】	12. 遊具を使った身体活動 鉄棒遊び・パルーン遊びの模擬授業① それぞれの動きのスポーツ技術への発展と、つまずきへの指導の仕方を学びます。 パルーン遊びの模擬授業を実践します。
授業計画 【第13回】	13. 遊具を使った身体活動 鉄棒遊び・パルーン遊びの模擬授業②¹ 鉄棒運動や縄跳の動きの系統性を踏まえてつまずきへの指導の仕方とパルーン遊びの模擬授業を行います。 パルーン遊びの模擬授業を実践します。
授業計画 【第14回】	14. 子どもが喜ぶ遊びを使った模擬授業・パルーン遊びの模擬授業③ 今まで学びを活用して、幼児を対象とした運動遊び教材を工夫して、模擬授業に取り組みます。 パルーン遊びの模擬授業を実践します。
授業計画 【第15回】	15. パルーン遊びの模擬授業④・授業のまとめ 今までに習得した学びを生かして、子どもが楽しくできる遊びのポイントについて話し合いながらまとめます。 パルーン遊びの模擬授業を実践します。
授業の到達目標	1. 幼児期の心身の発達段階に即した教材の工夫ができる。 2. 幼児期の子どもに即した遊びの提示の仕方や指示や賞賛をしながら、ちびっこ運動会の運営やパルーンの模擬授業ができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外学習【予習】	授業中に次の時間の学習内容について提示します。その学習内容について、調べておいて下さい(1時間)。
授業時間外学習【復習】	授業後は、授業で提示した教材と関連した教材を文献などで調べておいてください(30分)。
課題に対する フィードバック	模擬授業実施後には、個別に口頭で解説をします。
評価方法・基準	ちびっこ運動会50点 模擬授業50点
テキスト	必要に応じて資料を配付する。
参考書	前橋明 『幼児体育 基礎理論と指導の方法』 2025年（樹村房）
備考	